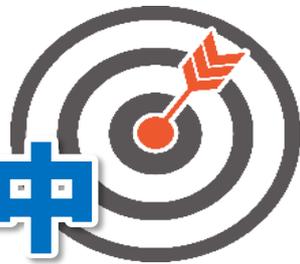


2026
ズバリ! 的中



世界史

慶應義塾大学

オスマン帝国の2種類の軍団についての
論述問題が的中

入試問題

2月16日実施 法学部
問題Ⅲ 設問5

問題Ⅲ

以下の文章の空欄〔51〕から〔56〕に入る最も適切な語句を〔語群〕より選び、その番号をマークシート解答用紙の所定の欄にマークしなさい。同じ番号の空欄には同じ語句が入る。また、下線部(ア)から(エ)に関連する設問1から4について、指示に従って番号を選び、マークシート解答用紙の所定の欄にマークしなさい。設問5の解答は、指示に従って記述式解答用紙の所定の欄に記入しなさい。

〔設問5〕

14世紀後半から16世紀末に至るまでの間のオスマン軍の主力は、2種類の兵から構成されていた。それらは、それぞれどのような特徴を持ち、どのような制度に基づき軍役に就いていたのか、また、このうちの一つの種類の兵は16世紀末頃から衰退していったが、どちらの種類の兵がどのような軍事上の変化のために衰退していったのか、あわせて200字以内で説明しなさい。解答は記述式解答用紙の所定の欄に記入すること。

河合塾

大学受験科 基礎シリーズ 完全習得タイム
第6回 ⑬ (C)

⑬

(c) オスマン帝国の確立に寄与した制度として、世界史的には軍団の兵員構成や軍事封土の特徴も指摘されている。このことに関連して、オスマン帝国の2種類の軍団について100字以内で説明せよ。